

# 小泉八雲のみた松江



[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B0%8F%E6%B3%89%E5%85%AB%E9%9B%B2#/media/File:Lafcadio\\_Hearn\\_portrait.jpg](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B0%8F%E6%B3%89%E5%85%AB%E9%9B%B2#/media/File:Lafcadio_Hearn_portrait.jpg)

5班 神谷綾乃、金子志織、金子茉由  
鈴木総二郎、田村奏、長廻圭祐

5班のテーマ

# 「小泉八雲のみた松江」

→ 松江を舞台として書いた怪談話を通して、  
八雲が見た松江を探る

# 小泉八雲ってどんな人？

- 1850年、アイルランド人の父とギリシャ人の母の間に生まれる
- 父母に代わって世話してくれた大叔母が破産し単独渡米、ジャーナリストとして活躍
- 日本文化や『古事記』の影響で来日を決意
- 1890年来日し、島根県尋常中学校に赴任  
その後、熊本、神戸を経て、東京へ
- 1896年、松江の士族の娘小泉セツと結婚し、日本に帰化
- 1904年、54歳で死去



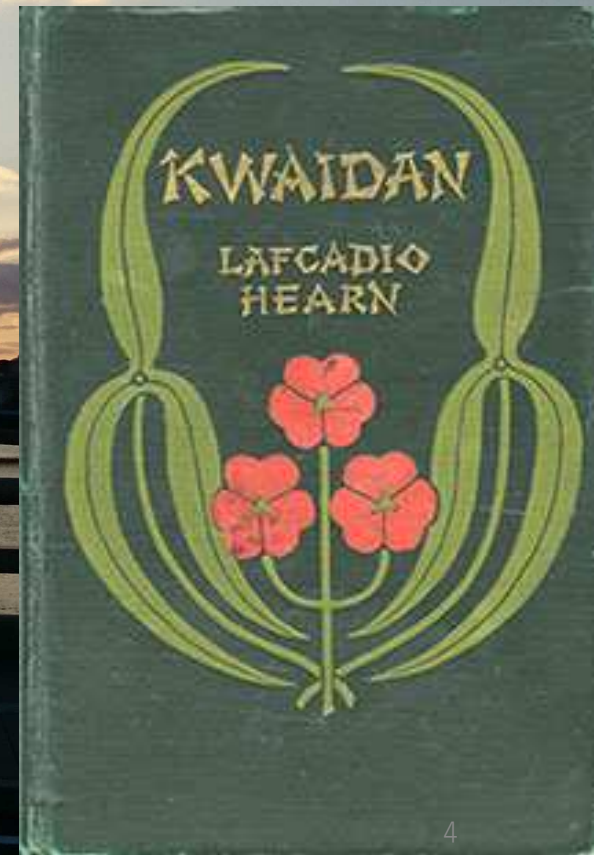
# 小泉八雲が日本でしたことは？

- 日本各地で英語教師
- 著作者として、翻訳・紀行文・再話文学を中心に約30の著作

## <主な作品>

- 『知られざる日本の面影』
- 『日本瞥見記』
- 『怪談』

…etc.





監修 倉本政興  
 演出 井口 眞  
 衣装 前田文子  
 音楽 大介  
 美術 西本由香  
 舞臺監督 雄崎広和  
 製作 朗読座  
 地人会新社

作 山田太二  
 演出 鶴山仁

# 日本の面影

紺野美沙子

草刈正雄



長谷川稀世



金内喜久夫



田代隆秀



大西多摩恵



石橋徹郎



川野太郎

安部愛子・渡辺吾郎・前田聖太

2014年 5月28日[水] ~ 6月2日[月]

## 俳優座劇場

〒106-0032  
 東京都港区六本木4-9-2  
 TEL.03-3470-2680

■料金 [全席指定/消費税込] / 一般7,000円 ■前売開始/2014年4月16日[水]  
 25歳以下3,500円 ■チケットのお申込み/ふれいす TEL.03-5468-8113(平日11時~18時)  
<http://place-net.co.jp>

朗読座・地人会新社

<https://www.facebook.com/roudokuza/photos/a.409548745770347.94042.404902176235004/670412179684001/?type=3>

# 『怪談(Kwaidan)』 1904年出版

→ 妻・セツから聞いた日本各地の伝説や幽霊話を、  
八雲独自の視点から再話したもの

- 雪女
- 耳無し芳一
- ろくろ首

…等々。

# ゴースト松江

## MATSUE GHOST TOUR



Lafcadio Hearn's  
MATSUE GHOST TOUR

闇夜……

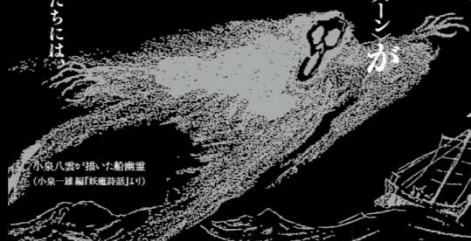
小泉八雲（ラファディオ・ハーン）が

再話した

「怪談」ゆかりの

地を訪ねて

小泉八雲の再話した松江の怪談を  
体感してみましょ。松江の夜の魅力を再発見できます。  
闇をみつめることは、自らの五感力を磨くことにもなり、  
灯りの溢れた現代社会に暮らす私たちに、  
とても新鮮なものになるでしょう。



小泉八雲「怪談」字船幽霊  
（小泉一輝編『怪談時話』より）

【出発日】  
2017年  
3月…11④ 18④  
4月…22④ 29④  
5月…6④ 13④ 20④ 27④  
6月…3④ 10④ 17④ 24④  
7月…1④ 8④ 15④ 22④  
8月…12④ 19④ 26④ 23④  
9月…9④ 16④ 23④

【集合場所】  
ぶらっご松江観光案内所  
（松江城山公園内）  
●大手前駐車場から50メートル

【解散時刻】  
松江城大手前

【集合場所】  
ぶらっご松江観光案内所  
（松江城山公園内）  
●大手前駐車場から50メートル

【解散時刻】  
松江城大手前

【集合場所】  
ぶらっご松江観光案内所  
（松江城山公園内）  
●大手前駐車場から50メートル

【解散時刻】  
松江城大手前



地元の話り部が、静かに思いを込めて、怪談の世界にご案内します。

【旅行代金】  
お一人700円（税込）  
●大人 6人組

【申し込み先】  
NPO法人松江ワイルズ・研究会  
〒690-1087  
島根県松江市殿町428  
電話 0852-21255470  
Eメール info@wvds-samhi.co.jp





ゴーストツアーで巡った場所の

👻各怪談の紹介!!👻



ギリギリ井戸  
(松江城)



「現在地」が井戸の場所



# 松江城を見上げてみる

松江城を訪れ小泉八雲は、訪れた際、城を「龍」にたとえた。  
松江城にも超自然的なものを感じていたのだろうか・・・

# ぎりぎり井戸の由来

「ぎりぎり」とは、松江の地域で「**頭のつむじ**」を指す。  
松江城のちょうど中心にあったことから、その名が  
ついたとされている。

**ぎりぎり = つむじ**

# 概要①

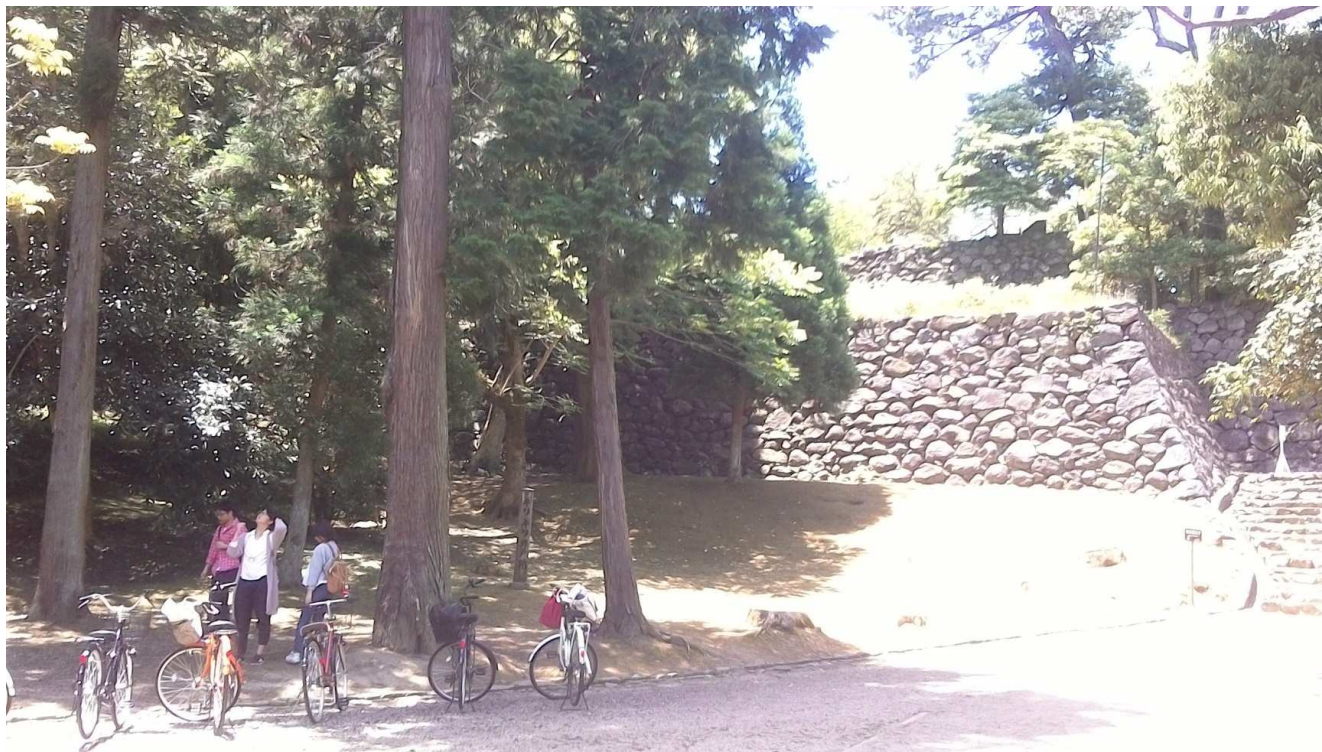
1607年(慶長11年)

築城の時・・・



## 概要②

石垣は崩れるし、病気になる人、怪我をする人続出・・・



## 概要③

そこはもともと戦場で遺体が埋まっているという場所。





## 概要④

困った堀尾吉晴公は・・・祈禱した。

井戸があった場所の全体

## 概要⑤

すると...



石垣は完成しました。

しかも . . .

水が湧き出し、掘った穴からは綺麗な水  
城下の人々の喉を潤しました。

現在井戸は閉じられ、目印が残るのみとなっています。

ギリギリ井戸跡



月照寺

# 月照寺の大亀

月照寺とは？

- ・ 松江藩主松平家の菩提寺
- ・ 平成8(1996)年に国の史跡に
- ・ 元は洞雲寺(禅寺)



# 大亀の怪談

## 内容

亀が好きだった亡くなった藩主をしのいで、大亀の石像が造られた。

→亀の石像は夜になると動き出し、人を襲うようになった。

→そこで寺の住職が亀に説法をすると、亀は自分を鎮めるように住職に頼んだ。

→住職は、亡くなった藩主の功績を石碑に彫って亀に背負わせた。

# 大亀について

大きさ…全長約5メートル、高さ約1メートル50センチ。

寿蔵碑…「寿蔵」は生前に造られる墓のこと。六代目宗衍公の五十歳の誕生日と長寿を祈って七代目の不昧公がつくらせた。

き ふ ひ

亀趺碑…石碑の台石を亀の形にかたどったもの。  
中国で発展した様式で、日本各地でも同じ様式のもものが、数多くみられる。

# 怪談について

## もう一つのお話

別のお話として、武士に首を切り落とされるというものがある。

→胴と頭をくっつけた様な跡があるため。

## 考察

亀が背負っている石碑は石材が穴道湖のほとりから来たと言われているが、亀は石材の出所が不明なため、亀は本当に生きていた可能性がある？





# 清光院



# 清光院

～「消えぬ芸者の足跡」～

# ○概要

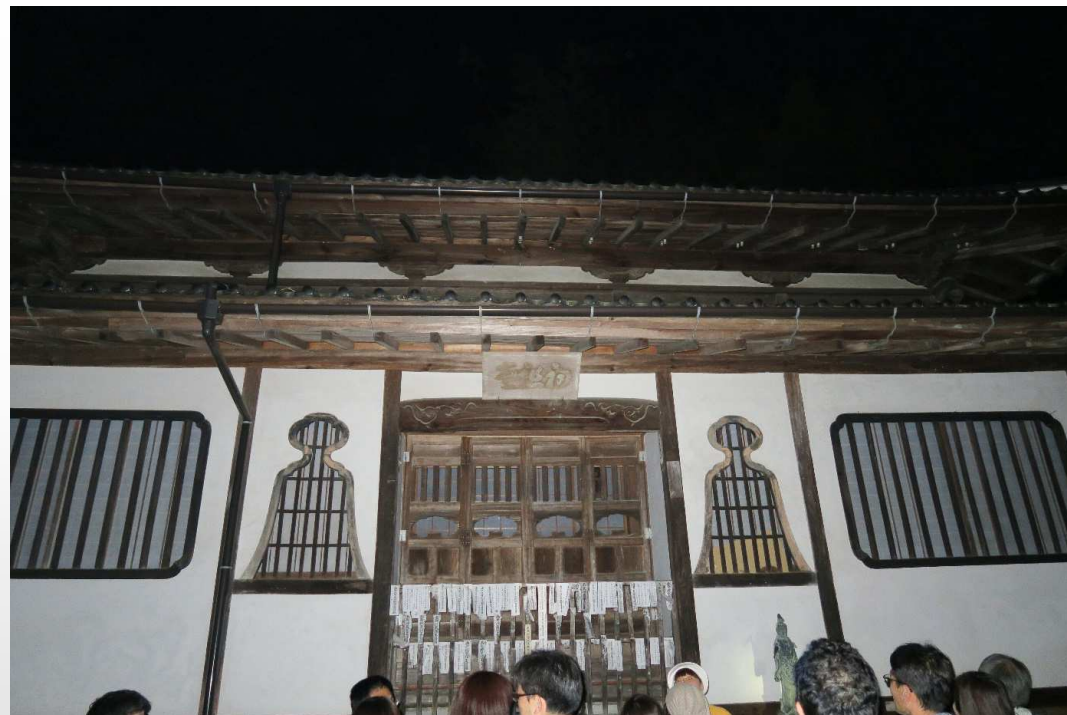
- ・宗派…曹洞宗
- ・山号…寶珠山(ほうしゅざん)
- ・本尊…釈迦牟尼如来
- ・開基…清光院殿古鏡無尽居士  
※いかなる人物かは不詳
- ・開山…洞光寺の竺堂利賢
- ・もともと杵築にあったが、天正年中に富田(とだ)郷塩谷に移され、松江城築城に伴って現在地へ
- ・武家の檀家が多かった



松江市『松江市誌』(1941 松江市廳)  
Japanknowledge.com

# ○怪談の内容

昔、松風という芸者がいて、相撲取りと恋仲になった。けれどもある武士が松風に横恋慕し、ある日、松風が相撲取りの家から帰る道で彼女を見つけ追いかけた。松風は逃げたが、清光院の石段を駆け上がる途中、嫉妬に狂った武士に斬りつけられてしまった。松風は助けを求めたが、位牌堂の階段で力尽きて亡くなってしまった。その後、位牌堂の階段は拭いても削っても血の跡が消えなくなったといわれている。また、位牌堂で松風の謡をうたうと必ず、松風の亡霊が出るといわれている。



夜の位牌堂

## ○そこから派生した話

- ・松風が斬られたとき、運悪くお寺には誰もいなかった
- ・住職たちが帰ってくると女性の亡骸が横たわっていた
- ・清光院は武家寺であったため、芸者の松風を供養してあげることができなかった
- ・そこで僧たちは近くの竹林に松風の墓をつくってあげた。
- ・その後、墓付近で刃物を使った作業をするとき、手から刃物をはなすと消えてしまうように…



- ・松風は刀で斬られて亡くなったため、人が刃物を持つことを嫌っているから持っていってしまう



大雄寺

# ○大雄寺～「飴を買う女」～

## ①概要

- 宗派：日蓮宗
- 堀尾吉晴の松江開府に伴い広瀬町から移転
- 開山：日安  
(慶長14年・1609)



# ○大雄寺～「飴を買う女」～

## ②内容

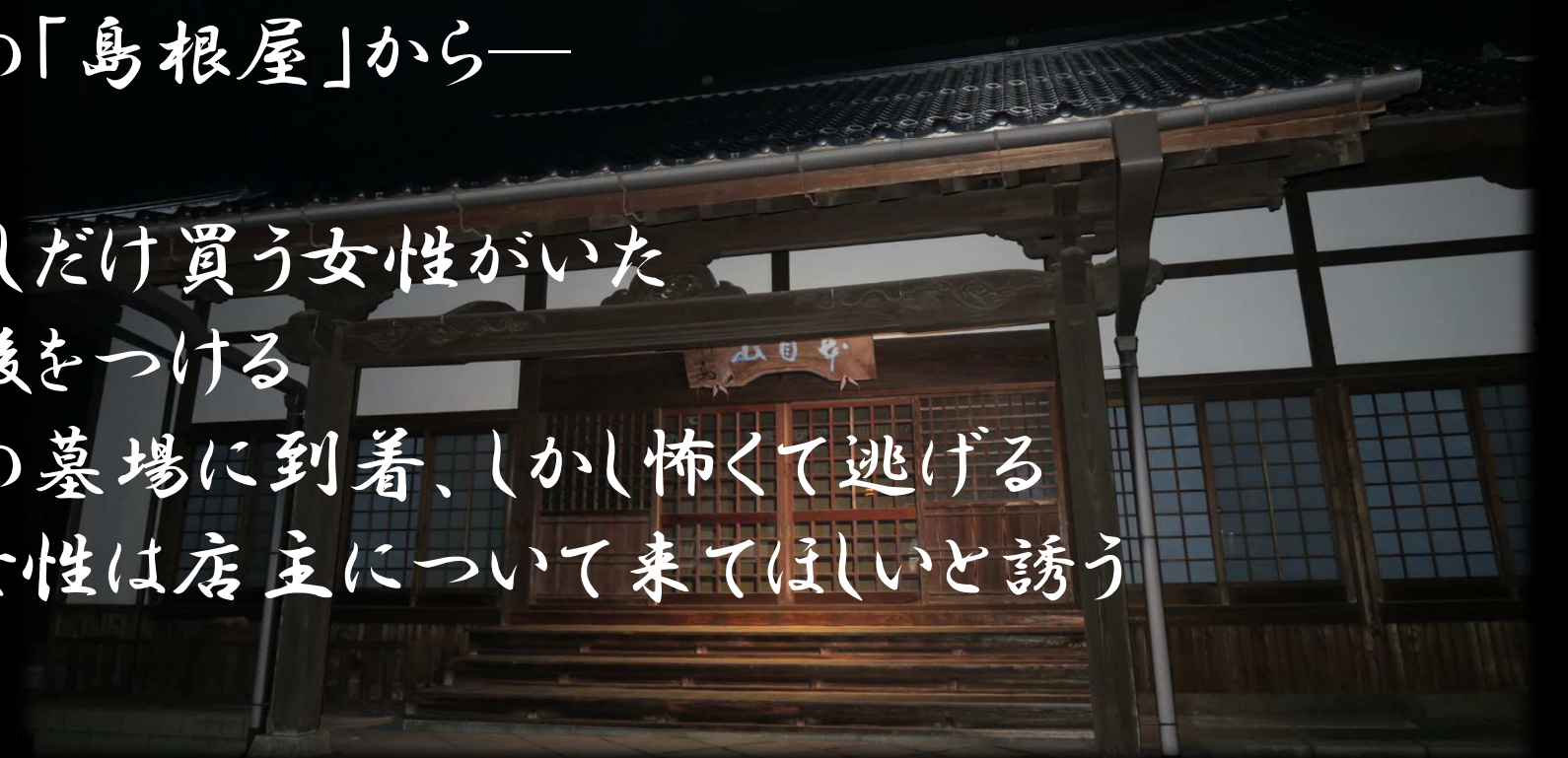
—外中原の「島根屋」から—

水飴を少しだけ買う女性がいた

→店主は後をつける

→大雄寺の墓場に到着、しかし怖くて逃げる

→翌晩、女性は店主について来てほしいと誘う





# ○大雄寺～「飴を買う女」～

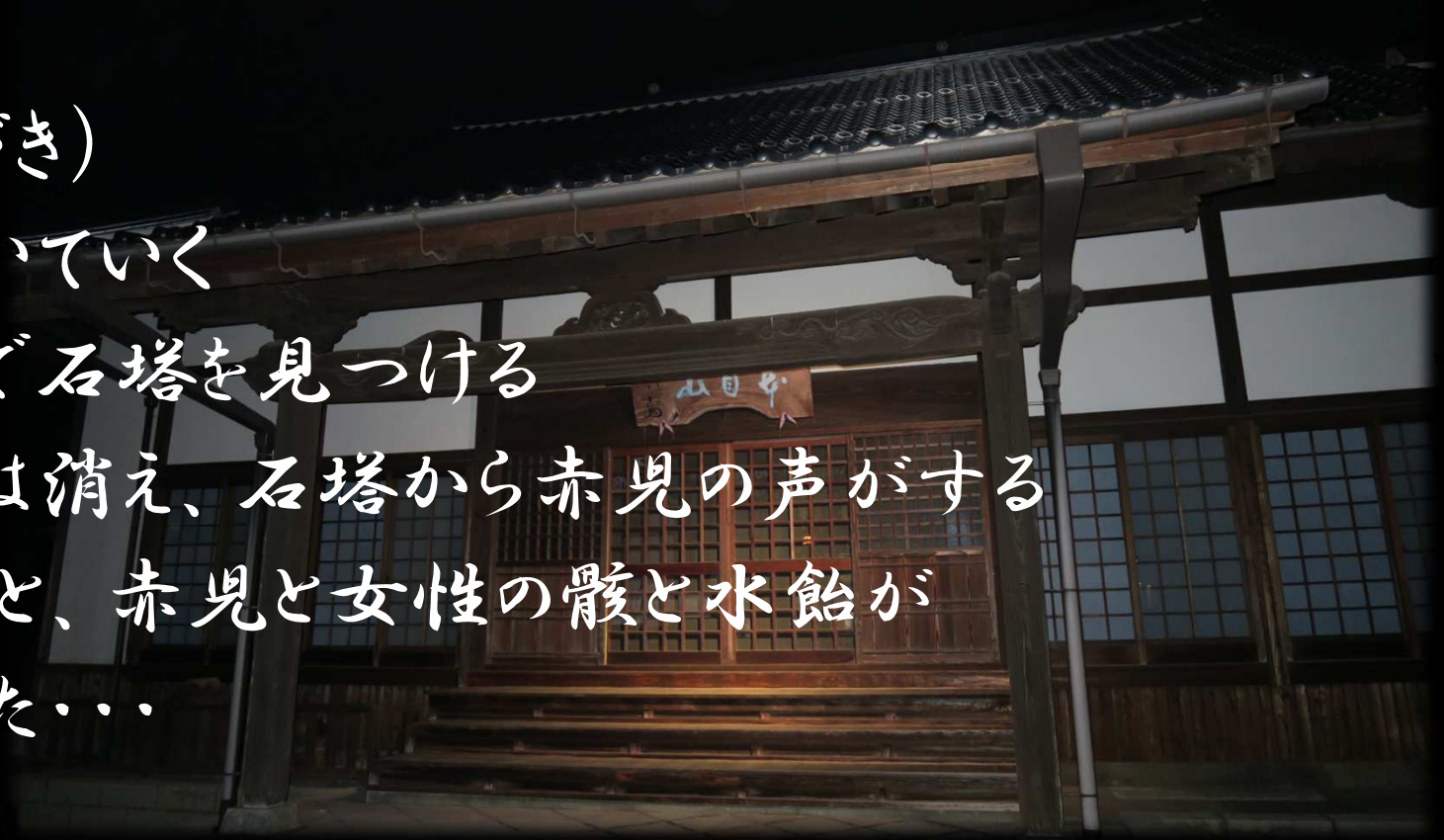
## ②内容(つづき)

→主人はついていく

→例の墓場で石塔を見つける

→女性の姿は消え、石塔から赤児の音がする

→掘り起こすと、赤児と女性の骸と水飴が  
置いてあった…



# ○大雄寺～「飴を買う女」～

## ③伝えたかったこと

両親の離婚と大叔母による養育

→母の愛を受けずに育った

→母の愛を感じさせるこの話に心を惹かれた

**「母の愛は、死よりも強いのである」**

(『日本警見記(上)－第7章「神々の国の首都」－』より)



実は…

八雲が関わっていない話がある…!!!!!!

# 松江を舞台にした怪談

★八雲が書いている

★八雲は書いていない

・月照寺「月照寺の大亀」

・清光院「消えぬ芸者の足跡」

・大雄寺「飴を買う女」

・松江城「ぎりぎり井戸」

# フィールドワークと文献から分かったこと

## <書いた話の特徴>

- 特異な話、超自然的な話、民間伝承として伝わっている話
- 松江の怪談を紹介することで、日本の様相を伝えている
- 母親の愛情、義理人情、死者への畏敬、約束
  - ⇒ 特に母の愛に関しては、母親の愛情というものを受けてこなかったため、特別な思いがあった

⇒ 自らの経験、多神教、超自然、日本文化への興味が根本に

## <八雲が書いていない話の特徴>

- 人の感情だけによるもの  
⇒例：清光院(嫉妬心によるもの)
- 民間伝承や全国共通のものではないその土地その時だけのもの
- ただの怪奇現象  
⇒例：ぎりぎり井戸

## 今回のフィールドワークを通してみえた課題・提案

- 「八雲が再話した『怪談』ゆかりの地を訪ねて」という、文句をうたっているゴーストツアー

⇒ ゴーストツアーで巡る場所には八雲が関わっていない場所がある

**八雲が取り上げた話に基づいてツアーを構成するなら？**

月照寺、大雄寺の話  
に加え、次の話を入  
れて、ツアーを構成  
してはどうだろうか

八雲と妻・セツ

<http://www.japanjournals.com/feature/survivor/3786-koizumi-setsu.html>



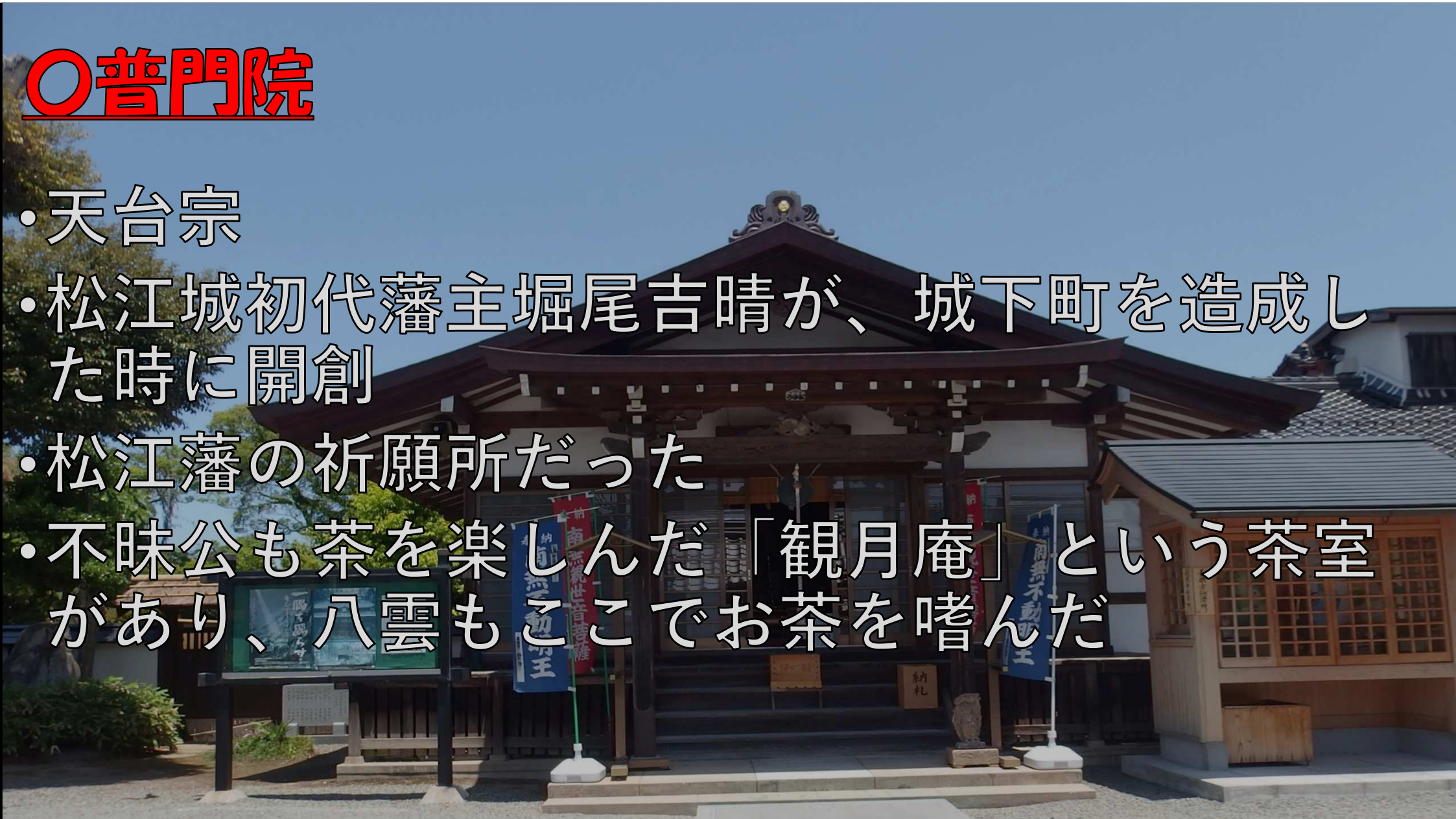




普門院

# ○普門院

- 天台宗
- 松江城初代藩主堀尾吉晴が、城下町を造成した時に開創
- 松江藩の祈願所だった
- 不昧公も茶を楽しんだ「観月庵」という茶室があり、八雲もここでお茶を嗜んだ



# 『小豆とぎ橋』

普門院の前にある、小豆とぎ橋。

そこでは決して歌ってはいけない歌があった。

しかしある日、

怖いものなしと豪語する侍がその歌を歌いながら  
橋を渡った、すると…

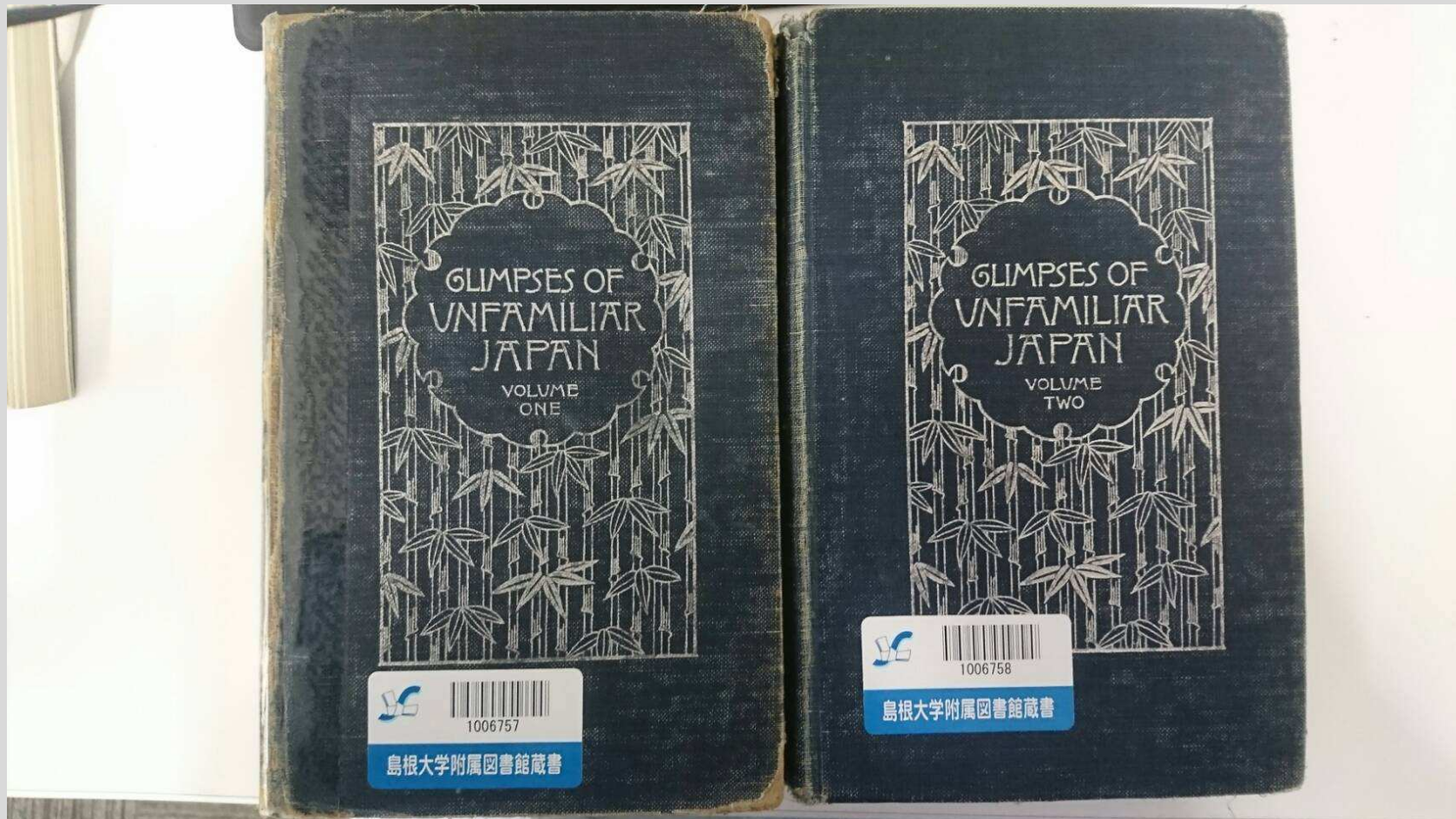
家の前に、女が一人いて、  
箱を一つ渡してきた。  
不思議に思い箱を開けると、  
中には自分の子の首が入っていた。  
急いで部屋に戻ると、  
部屋には、  
首のないわが子が横たわっていた…

この話は、1894年出版

『日本瞥見記(上)』の第七章「神々の国の首都」による。

(GLIMPSES OF UNFAMILIAR JAPAN VOLUME1)

(CHIEF CITY OF PROVINCE OF THE GODS.)



八雲はこの話について、

**「日本の民間伝承のひとつの様相を  
じゅうぶんにつたえた代表的なもの」**

(原文:Of these ghost stories I cite two specimens:they are quite representative of one variety of Japanese folklore)

と、大雄寺の怪談(飴を買う女)とともに紹介した

# 考察

小豆とき橋は、実際は石橋町にあった橋

⇒八雲は舞台を普門院の前に移してまで書きたかった

その理由は...

- 日本の民間伝承の代表的な話であること
- 約束を守ることの大切さ

について、伝えなかったのではないか

また、今回の調査で、他に適当な話がないか調査したところ、次のような話が見つかった







松江大橋

# 概要①

北と南を結ぶ本格的な橋が架けられることになった



## 概要②

工事は難航...水神が人柱をほしがっていると考えた



まちのついていない袴をはいて最初に橋を渡った人を人柱に

# 概要③

人柱になったのは...足輕の**源助**だった



- 松江において、かなり有名な話ではあるが、八雲はそれほど興味を示さなかった

⇒したがって、ツアーに組み込むには不適當だと考えた

# 5班が考える

## ゴーストツアー案

- 月照寺「月照寺の大亀」  
⇒ 義理人情
- 大雄寺「飴を買う女」  
⇒ 日本の民間伝承、母の愛
- 普門院「小豆とぎ橋」  
⇒ 日本の民間伝承、約束を守る大切さ



## 八雲が選んだ話でツアーを組むことで

より一層、

- 小泉八雲が感じた「松江」というものを感じられる
- 日本に伝わる伝承の新発見・再確認
- 母親の愛情、義理人情、約束といった、八雲が大切にしてきたものの再認識

⇒ **現代社会で忘れかけられているもの**



**End.**



## 参考文献

- LAFCADIO HEARN『GLIMPSES OF UNFAMILIAR JAPAN VOLUME ONE,TWO』(1894 HOUGHTON MIFFLIN COMPANY)
- ラフカディオ・ヘルン(平井程一 訳)『怪談』(1940 岩波書店)
- 松江市『松江市誌』(1941 松江市廳)
- 小泉八雲(田部隆次、戸川秋骨 訳)『神国日本』(1942 第一書房)
- ラフカディオ・ヘルン(平井呈一 訳)『東の國から』(1952 岩波書店)
- 小泉八雲(平井呈一 訳)『日本瞥見記 上・下』(1975 恒文社)
- 内田兼四郎『松江城 歴代藩主の菩提寺』(1980 内田兼四郎)
- 山陰中央新報『ラフカディオ・ハーンの面影を追って』(1987 恒文社)
- ラフカディオ・ハーン(池田雅之 訳)『新編 日本の面影』(2000 角川文庫)
- 平勢隆郎『亀の碑と正統 領域国家の正当主張と複数の東アジア冊封体制観』(2004 白帝社)
- 高橋一清『新作怪談 松江物語 松江怪談』(2015 今井出版)
- 小泉八雲記念館HP <http://www.hearn-museum-matsue.jp/> (2017.06.22参照)
- 普門院HP <http://www.at-ml.jp/70339/> (2017.07.03参照)
- 出雲國神仏霊場 月照寺 <http://www.shinbutsu.jp/36.html> (2017.07.03参照)
- 水の都 松江 寺院寺社 <https://www.kankou-matsue.jp/kankou/jiin-jinja/> (2017.07.03参照)
- 松江ゴーストツアーHP <http://www.matsue-tourism.or.jp/ghost-tour/index.html> (2017.06.22参照)
- Onlineジャーニー <http://www.japanjournals.com/feature/survivor/3786-koizumi-setsu.html> (2017.07.02参照)
- 吉田の松江大作戦 [http://鷹の爪.jp/matsue/yoshida\\_spot/kaidan/](http://鷹の爪.jp/matsue/yoshida_spot/kaidan/) (2017.07.03参照)